

昭和48年度

春山女子パーティー  
報告書

信州大学山岳会

~~伊那・松本山岳部~~

目的

春の山を知り、女子独立の方向に  
持ってゆく為の一段階として、  
女子だけで各係を担当し、計画  
実践をはかる。

場所

前アルプス

方法

縦走

期日

昭和43年  
3月29日～4月3日

参加者

C.L.      中田 法子  
オアケバー      新谷 剛  
                 牧田 あつ子  
                 森下 妙子

# 行動記録

3月29日 着 都室 7:00 10:00  
 晴れ 発 5:20 中の湯 7:20 帝国ホテル 10:25

10:50  
 かつげ橋 (泊) 沢度より少し上までと思っていたのが中の湯まで車を入れてもらい、快調に上高地に入る。あまり順調すぎて先が心配になる。午後ラッセルをしながら田代池まで散歩。雪溶け水の梓川はまさに清流名のごとしである。

3月30日 小梨平 6:45 8:40 10:30  
 曇り後雨 6:10 7:00 徳沢園 8:55 横尾小屋 (泊)

きのうに引き続きラッセルもなく予想外に早く横尾に着く。途中本谷押し出し地桌でお墓参りをしている。小屋に着く頃より雨となり、次第に強くなるので、避難小屋へ入り明日の天気回復を願って就寝。

3月31日 横尾 14:55  
 晴れ後曇り 8:00 蝶ヶ岳下稜線

昨夜の雨で雪も腐りようやくラッセルが始まる。白川側の屏風岩方面ではさかんに雪崩が発生し、無気味な音が響いて気持が悪い。三日目にして急坂とラッセルで少々バテ気味。現在地真標高何メートルか見当をつけることは難しい。

4月1日 常念アタックの予定であったがガスと強風のため (丸)

4月2日

快晴

風速 15~m

T.S. ——— 10:10 常念岳頂上 ——— 14:00 T.S.  
 7:15 10:25

悪風、快晴の attack 日知り、と言いた所であるが、かなりの強風  
 に悩まされながらも、快い attack ができる。はじめてアイゼン  
 をきかせ、左手に穂高と槍を、頭上には真青な空を眺め、  
 最低コルまで来る。ピークまではほとんど夏道通し、雪もあまり  
 なく岩稜である。頂上直下 20m ほどクラストしており、かなりの  
 傾斜に切れており慎重に登る。ピークでは風に追いつられ  
 360° 見回し心を残して Tent に戻る。  
 帰路は新谷名カメラマンの出番。モデルが111からどれも  
 すばらしくとれて113だろうと大なる期待を寄せているが。

4月3日

快晴

テニ場

8:20

8:50

蝶ヶ岳ヒュッテ

9:35

蝶ヶ岳最低コル

9:05

9:55

11:15

大滝下口

13:40

鍋冠山

15:30

冷沢分岐点

16:30

沢出合

11:25

14:00

15:45

16:45

17:30

登り口

18:30

スカイライン

20:50

小倉

17:45

18:40

下山は長いものであるがこの日も例にもれず長い行動。  
 快適なテニ場がまりがたく、下山ということもあり出発が遅れて  
 しまう。鍋冠までは快調に下る。春の陽いっほいの安曇野  
 も眼下にみえる。しかしここから予想とは逆に、かなりの時  
 間をとり、一旦沢へ下り、200mほど登りスカイラインと出会ったの  
 が午後6:30。冷沢の本道の標識はもっと慎重にや  
 ってもらわねばならない。

20:50 ようやくにして人家に到着。合宿中一番長く、  
 厳しい行程であったらうか。

## 反省、感想

中田 三子

女子だけで合宿を持ちたいという皆の希望により、春にそのワンステップを踏み出したのであるが、その結果は現段階においては大いに意義ある山行だったと思う。

計画段階において、はじめての春山であること、先輩につけてもらうとはいえ女子 party としての山行であることなどを考えて極めて慎重と思われる計画を立案したが、結果的にみれば積極性が足りなかったように思える。入山からして中の湯まで車が入り行動4時間足らず、2日目もラッセルはなく意外なほど早く横尾へつき、予想と大きくちがいはびっくりしてしまった。しかし、いくらその日に余力があっても計画どうり動いてみたのはよかったと思う。(下山の日を除く)

自分ではテント内における生活や決定などにできるだけリーダーの立場を明確に、一生けん命やろうと思っていたのであるが、自分たちでもできる判断や決定までも新谷さんにおぶさってしまい、人を頼る気持がまだまだ強すぎたのではないかと反省している。

横尾で夜降られただけで幸い天候に恵まれていたので順調に行動できたが、荒天になった場合のことも常に考えていなくてはならない。

安易なコースを選び、充分な日程を費すならば我々といえども計画は遂行できるであろうが、それだけで満足してはいけない。

時間にあまり追われない山行であったことは歩くことのおかげに、地図の読み方を教ったり、ゆっくり山を眺めるなど、記録には表れない良いものを得ることができたと思う。

下山は強行すぎた面もあり、適当な判断ができなかったのはリーダーの未熟さ以外にはない。

しかし、この山行を通じて女子間の結束がより高まり小さなステップであっても一歩前進したと信じている。

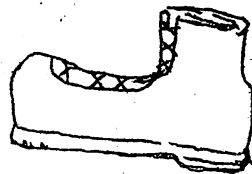
準備において自分役割を果さなくて申し訳ありませんでした。

牧田 敦子

山岳部一年生としての総まとめであると言える春山合宿に参加しなかつたのは申し訳けないが、女子の山行として一方向づけとなるような山行が持てたのは有意義な事と思っている。  
今回の山行はまあ行程も日程も楽であったからかもしれないが成功のうちに入れても良いと私は思う。まあ私は今回の山行に今までになく極力力を注いだのであるから、従って今考えてみてもあまり反省しなければならぬような事はない。  
ただちょっと時季が遅過ぎた様に思うことと、下山の事だが、二日のところを一日で下りたのだがあれで良かったのかどうか私にはよくわからない。  
とにかく厳しさは足りなかったかもしれないが楽しい山行でした。

森下 妙子

行動する日にはだいたいは晴れて快適だった。雪上技術での自分の未熟な臭ばかりが目についたような気がする。装備の方で欠けた物があり迷惑をかけてすみませんでした。これからは事前によく見、工夫をしてゆきます。



10+口文

系5リ.

エッセン

女子は今回の献立と分量を目安に計画を立てたらよいと思います。

朝食

B<sub>1</sub> コンソメすいとん  
 小麦粉 400g  
 玉ねぎ、わかめ、しいたけ 50g  
 青菜 30g  
 肉 100g  
 コンソメ  
 天かす

B<sub>3</sub> マッシュポテト  
 ポテト 400g  
 肉 100g  
 人参 50g  
 マネズ 200g  
 天かす

B<sub>4</sub> だし粉すいとん  
 小麦粉 400g  
 肉 100g  
 だし粉 60g  
 切干  $\frac{1}{2}$ パック  
 青菜 30g  
 ティンカス

B<sub>5</sub> コンソメすいとん  
 B<sub>2</sub>の他に玉ねぎ、小椒

B<sub>6</sub> マッシュポテト

夕食

S<sub>1</sub> ラーメン 500g  
 人参、玉ねぎ 50g  
 青菜 30g  
 肉 100g  
 油あげ 小1枚  
 S<sub>2</sub> マカロニ 500g  
 人参、玉ねぎ 50g  
 青菜 30g  
 だし粉 60g

S<sub>2</sub> 親子丼 500g  
 米 500g  
 卵 4コ  
 青大、玉ねぎ } 50g  
 しいたけ }  
 だし粉 60g

S4 ニ 飯  
 米 500g  
 さんま干物 4枚  
 ミソープ  
 キャベツ 50g  
 切干 1/2パック  
 ふりかけ

S5 マカロニ 500g  
 K.ルー 100g  
 人参、玉ねぎ 50g  
 肉 150g  
 油あげ 1枚  
 青菜 30g

昼食

フレンチパン ~~or フランスパン~~  
 チーズ or チョコレート  
 あめ  
 ヨーセージ

以上行動日

現殿

B7 だし粉すいとん  
 B8 マッシュポテト  
 B9 だし粉すいとん

⑨  
 フランスパン  
 スープ

ピニチフード

あげせんべい  
 チーズ  
 チョコレート  
 干ぶどう  
 サラミ

その他

緑茶  
 おしる粉  
 紅茶  
 砂ぼう  
 塩、ニシキ  
 干えび  
 ワカメ



装備

Xタ使用量 23回 120g  
 /回 10g以内でも使用できた。  
 ラミラス使用 844分間 (1時間0.3毛)  
 石油使用量 4.2ℓ  
 ロウソク 1/2本 6時間  
 1本で12時間使用できる。

会計

収入 3150 × 4 = 12600

支出 食料費(研究費も含む) 7989

乗物 3390

装備 1015

計 12394

残高 206-

206円は帰りのバス代に合算されています

医療

使用薬品

かぜ薬 (頭痛のため)

ビタミン剤